

29日 贈呈式

本県の文化・教育、産業・科学、平和・福祉の発展、振興、向上に尽力した方々を顕彰する2022年度「長崎新聞文化章」の受章者が決まった。

受章するのは、県地域婦人団体連絡協議会会長の西山智子氏(83)、長崎総合科学大名誉教授の林一馬氏(78)、長崎市美術振興会名誉理事長の米村昭彦氏(92) Ⅱいずれも文化・教育部門Ⅱ。贈呈式は29日、長崎市茂里町の長崎新聞文化ホール・アストピアで開く。

西山氏は長年、婦人会活動のリーダーとして、女性の社会進出に貢献。「子どもを守る長崎ひまわりプロジェクト」会長として、県内23団体と連携し、子育て家庭への食の支援などに取り組んでいる。

林氏は、教会など長崎の建造物を研究。県文化財保護審議会会長として、文化財の復元や保存活用に指導的役割を果たした。長崎の教会群の世界文化遺産登録に向け尽力した。

米村氏は、洋画家として自ら創作する一方、長崎市民美術展などの審査員などを通じ、本県の実術界をけん引した。長崎平和アートプロジェクト(ナヘア)では、世代やジャンルを超えた作家らと平和を発信する。